

資料1-2

# 公益財団法人 静岡観光コンベンション協会

平成25年4月

# < 協会の歩み >

昭和 8年 旧静岡市観光協会設立  
昭和15年 戦火激しく中断 ~昭和26年 再建

清水商工会議所内に  
昭和22年 旧清水市観光協会設立  
昭和58年 会議所から独立

静岡市と商工会議所が中心となって  
平成4年 旧静岡コンベンションビューローが設立  
平成6年 4市2町が参画（清水市、焼津市、藤枝市、  
岡部町、大井川町、島田市） ・H7 財団化

平成15年 静岡合併

旧静岡市観光協会と旧清水市観光協会が合併し、  
平成15年 静岡市観光協会となる

富士山静岡空港の開港、組織・財政基盤の強化を図るため、  
「静岡市観光協会」と「(財)静岡コンベンションビューロー」を統合し  
平成19年 「財団法人静岡観光コンベンション協会」としてスタート

平成25年 「公益財団法人」静岡観光コンベンション協会に移行

# 過去の主な取り組み



# 組織の公益性

## 協会の設立目的

(定款第3条抜粋)

観光客及びコンベンションの誘致・支援等により、静岡市の観光振興及び県中部地区のコンベンションの振興を図ることで、  
**国際相互理解の増進、地域経済の活性化、文化の向上、豊かな人間性に根差した社会の創造に寄与する**

## 組織の運営

○関係団体の代表などで組織される理事会・評議員会を設置し、民主的な運営を確保

○組織・財務・労務等に関する各種諸規定を整備し、透明性・公平性を高めた組織運営

○情報公開の徹底とコンプライアンスの遵守

## 「観光」と地域経済の関係

観光は、宿泊業や運輸業、飲食業など裾野の広い産業



観光に係る雇用や消費が地域経済に大きく影響

## 観光を取り巻く状況変化

### <従来型> 団体に温泉に泊まり、観光地を巡る

- 慰安旅行などの団体行動で、旅行会社が企画したパック旅行が中心
- 関係する業界・ホテル、旅館などの宿泊業、バスやタクシーなどの運輸業、レストランなどの飲食業や土産物店



### <今日型> 個人で、「学び・体験する」観光へ

- 個人や小人数で、グリーンツーリズムや「まち歩き」などの体験型へ
- 関係する業界・上記プラス 農業、漁業体験、地場産業や工場見学、B級グルメ、マスコミ、地域の歴史に詳しいお年寄り など

## 観光関係者に求められる変化への対応

### 最新で、より具体的な情報の提供

☆「美味しいスイーツ」「おもしろい商品」を売っているお店を知りたい



単なる観光情報だけでなく、個店レベルの詳細な情報が求められる

### 多種・多様なメニューの提供

♡「見る」⇒「学ぶ」「遊ぶ」「触れ合う」



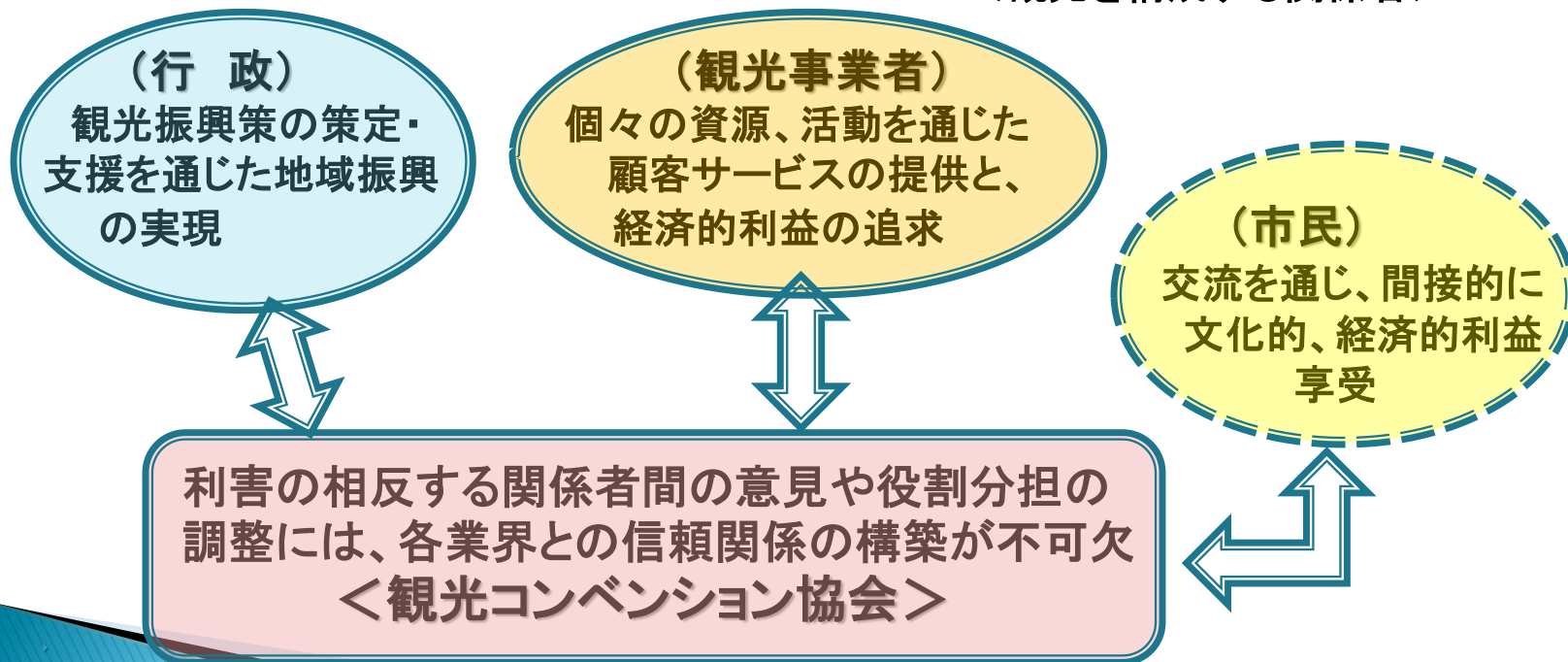
近隣自治体との連携、異業種のとりのまとめなどが必要

幅広い関係者及び自治体の圏域を超えた連携・協力

# 観光コンベンション協会の果たす役割

## I 観光を支える幅広い関係者のコーディネート

＜観光を構成する関係者＞



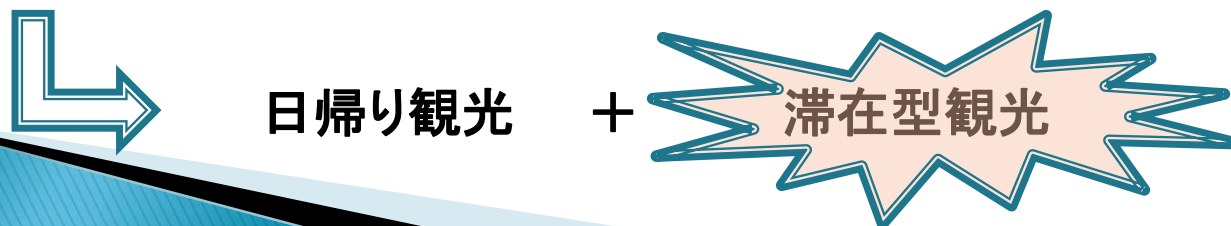
## Ⅱ 広域連携の強化・推進

### 1 観光資源の有機的結合で、日帰り観光から滞在型へ

- 現状 ☆首都圏から1時間という恵まれた立地  
★それぞれの市の観光資源の数や知名度が弱い



- 改善 ☆圏域の各市と連携し、既存の観光資源を有機的に結合  
☆駿河湾を挟んだ地域との広域連携の推進など





## 2 コンベンション誘致実現のための連携・役割分担

### 圏域市が抱える課題

- ★ コンベンション施設はあるが宿泊施設が不足している
- ★ 宿泊施設はあるが、コンベンション施設が少ない



☆圏域市の連携と役割分担により ⇒ 誘致の実現

\* 圏域各市の状況(充足:○ 不足:△)

静岡市	コンベンション施設	○	宿泊施設	△
焼津市	コンベンション施設	△	宿泊施設	○
藤枝市	スポーツ施設	○	宿泊施設	△
島田市	コンベンション施設	○	宿泊施設	△

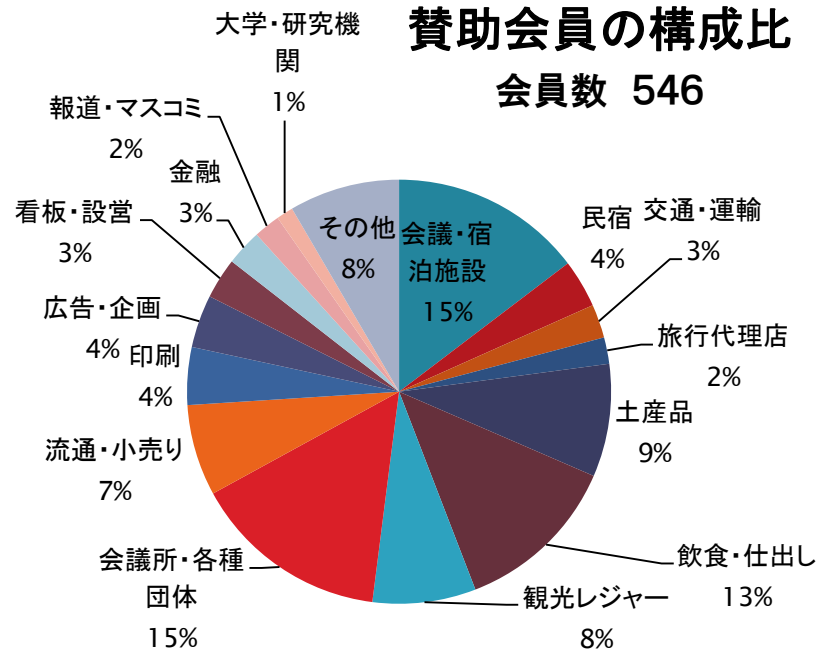
圏域各市が一体となった団体ゆえに、効果的な誘致が可能です

# 地域の幅広い関係者のコーディネートと、広域連携の推進役を担うに相応しい、地域唯一の団体です

- 1 中部地区の自治体及び民間企業で構成され、かつ専門的な知識・経験を有する幅広い業界・業種の賛助会員から成りっている団体です
- 2 営利を直接的な目的としていないことから、特定のエリアや特定の企業・業界に偏ることなく、圏域全体の発展を見据えた調整や取り組みができます

## <賛助会員数と業種別割合>

(H24. 4. 1現在)  
賛助会員の構成比  
会員数 546



## <基本財産出捐者>

区分	団体名	出捐金額	割合%
自治体	静岡県	10,000万円	19.2%
	静岡市(旧清水市含む)	21,000万円	40.2%
	焼津市(旧大井川町含む)	650万円	1.2%
	藤枝市(旧岡部町含む)	450万円	0.9%
	島田市	250万円	0.5%
民間企業	34社 金融機関、宿泊業、飲食業、マスコミなど	19,850万円	38.0%
合計		52,200万円	

## <協会組織図>

H24.4.1

### 総務企画部

部長1(市OB)

総務課 (課長1、主任1、主事、1非常勤1)

観光振興課 (課長1、主事1、非常勤2)

清水事務所 (課長1、主任1、非常勤1)

### コンベンション推進部

部長1(民間派遣)

誘致支援課 (課長1(民間派遣)、主任2)

(観光案内所等)

JR静岡駅総合案内所 (非常勤1、パート4)

〃 南口案内所 (パート5)

JR清水駅前観光館内所 (パート3)

駿府城跡観光バス駐車場 (パート5)

清水港船宿記念館「末廣」 (パート5)

職員一覧(内女性)

職員	非常勤	パート	合計
12人	6人	22人	40人
(6人)	(5人)	(11人)	(22人)

# 活動の公益性

協会の設立目的(定款第3条抜粋)

観光客及びコンベンションの誘致・支援等により、静岡市の観光振興及び中部地区のコンベンションの振興を図ることで、国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化、文化の向上及び豊かな人間性に根差した社会の創造に寄与すること

上記の目的実現のため、次の事業を実施します

(公1) コンベンション  
MICE誘致事業

(公2) シティプロモーション  
観光客誘致事業

(収) 収益事業

(他) 賛助会員事業

# 各事業の主な対象者、主たる財源など（H24年度）

区分	事業対象	事業名（主な財源）	予算額	備考
(公1) コンベンション MICE誘致事業	静岡、焼津、 藤枝、島田 の4市	○MICE主催者からの情報収集・商談会等への出展 ○主催者に対する財政的、物的、人的支援 （圏域4市＋静岡商議所負担金） * 国際会議誘致助成金、開催準備貸付金（自主財源）	44,071千円	
(公2) シティプロモーション・観光客 誘致事業	静岡市	○観光宣伝事業（静岡市補助金） ・パンフレット等作成配布 ・広告宣伝、情報発信 ○観光客誘致事業（静岡市補助金） ・観光キャラバン隊派遣 ・国外からの誘客 ○観光客等受入事業（静岡市補助金） ・観光案内所運営 ・「おもてなし力」の向上 ・船宿記念館「末廣」運営（静岡市指定管理料）	95,534千円	
(収) 収益事業		○駿府城跡観光バス駐車場運営（静岡市委託料） ○登呂遺跡駐車場運営（事業収益） ○駅前地下道ショーケース貸出（事業収益）	18,295千円	
(他) 賛助会員事業		○会報発行、賛助会員の集い（賛助会費）	3,968千円	

# (公益事業1) コンベンションMICE誘致事業

☆ MICEの誘致に取り組むことで、交流人口の増加を図り、  
もって、地域経済の活性化と文化の向上を図ることを目的とする事業

M = Meeting(会議、研修会)

I = Incentive(報奨旅行、招待旅行)

C = Convention(全国大会、学会、国際会議)

E = Event/Exhibition(展示会、見本市)

- ・MICEの主催者となる大学や企業、関係団体等からの情報収集
- ・商談会やトレードショーへの出展などを通じた各種の誘致活動

## 1 国際ミーティングエキスポ(IME) への出展

(国内唯一の総合コンベンション見本市)

開催場所 東京国際フォーラム

事業成果 22年度出展で2大会を誘致

24年度出展で3大会を誘致



## 2 MICE誘致商談会への参加

- ソウル・インセンティブマート
- 上海市・蘇州市商談会(当協会主催)

## 3 首都圏での個別訪問

(静岡市東京事務所との共同事業)

大学、学会、各種団体の事務局を定期的に  
訪問 年間 80団体程度  
2～3年後の開催交渉

## 4 主催者の招請

開催可能性のある団体等のキーパーソンを招請 23年度招請団体 5団体



☆MICEの準備には数年を要し、息の長い、継続した誘致活動が必要  
☆商談会、個別訪問で培った人脈、過去の経験の積み重ねが協会の財産

# ・主催者に対する財政的、物的、人的支援

## 1 国際会議誘致助成金交付事業

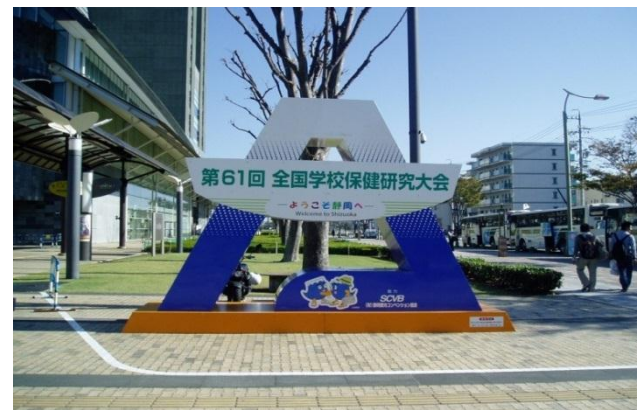
- ・参加外国人20人以上(3カ国以上)
- ・参加外国人1人当たり1万円(100万円限度)

## 2 コンベンション開催準備資金 貸付事業

- ・200万円を限度(総事業費の20%以内)

## 3 歓迎モニュメント・ 観光パンフレットの提供など

- ・歓迎モニュメントを会場に設置 124件設置
- ・各種パンフレットの提供 136,000部提供
- ・観光インフォメーションデスクの設置





# <大会の経済波及効果調査結果>

## 第50回日本SF大会

開催時期 平成23年9月3日(土)  
~4日(日)

開催場所 グランシップ

参加人数 約1,500人

経済効果 1億1,327万円

## 第61回全国学校保健研究大会

開催時期 平成23年10月27日(木)  
~28日(金)

開催場所 グランシップ

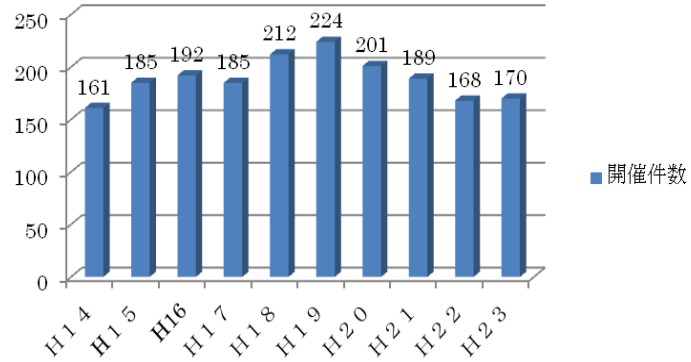
参加人数 約1,500人

経済効果 1億4,853万円

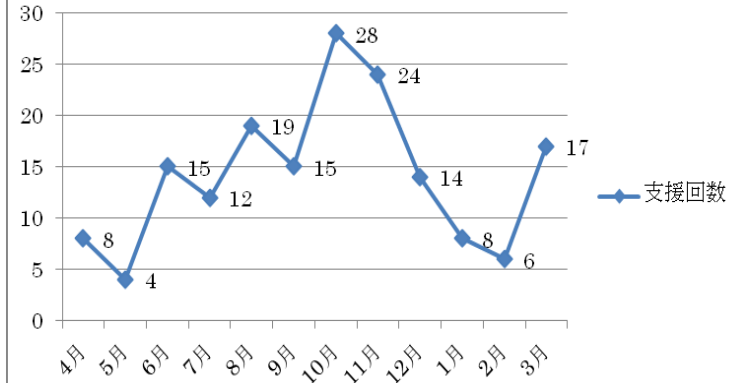
## H23年度 コンベンション開催支援実績

種 別	支援回数(内国際)	参 加 者	左の内県外参加者
学会	13 (3)	6,450人	5,060人(79)
会議・大会	57 (11)	31,366人	19,306人(231)
見本市・展示会	9	231,700人	58,700人
スポーツ大会	69 (4)	75,121人	33,269人(126)
その他	22 (4)	39,390人	7,390人(8)
合計	170 (23)	384,027人	123,725人(518)

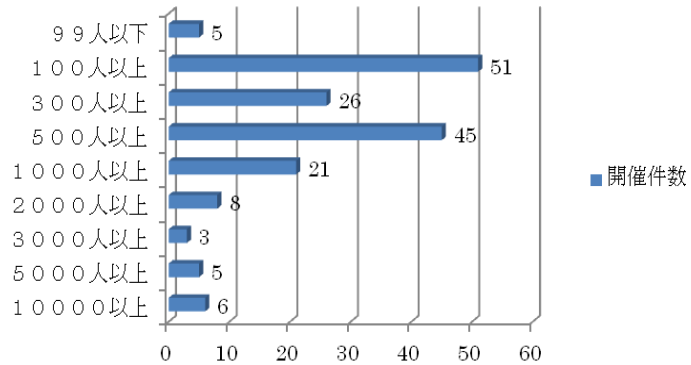
### 年度別支援件数



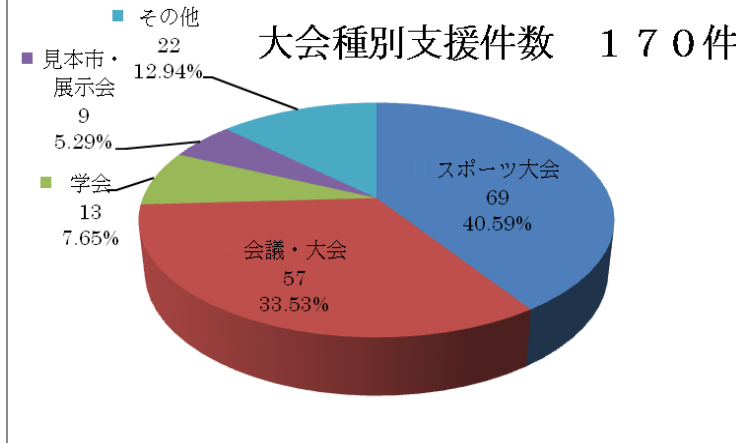
### 月別支援回数 170件



### 規模別支援件数 170件



### 大会種別支援件数 170件



# (公益事業2)シティプロモーション・観光客誘致事業

☆ 魅力ある観光情報の提供や賛助会員と一体となった誘致活動などにより、観光客の増加と来訪者の利便性の向上を図り、もって地域住民に経済的、文化的に豊かな生活を提供することを目的とする事業

## 1 観光宣伝事業

→ 各種観光パンフレットの作成、 広告宣伝・情報発信

## 2 観光客誘致事業

→ 観光キャラバン隊派遣や観光展出展等、国内外からの観光客の誘致

## 3 観光客等受入事業

→ 観光案内所等での情報提供等  
観光ボランティアガイドの育成等による「おもてなし力」の  
向上、 イベントの支援

# 1 観光宣伝事業

## 各種観光パンフレットの作成

- ☆旅行形態の変化、外国人観光客の増加
- ☆活用目的の明確化、最新の情報を掲載
- 「新東名開通」～ロードマップの改訂
- 「静岡気になルート」四季版の作成
- 「レンタサイクル事業」用サイクルマップ

## 広告宣伝・情報発信

- ☆新聞・雑誌や、WEBサイトを活用した情報発信による認知度の向上
- 関西地区や北海道の現地情報誌に観光情報を掲載し、アンケート調査や静岡市産品のプレゼントを実施



## 2 観光客誘致事業

### 観光キャラバン隊の派遣や観光展などへの出展

富士山静岡空港の就航先都市や、近隣のメディア、旅行社、行政等への継続的な誘客キャンペーンの実施

○就航先都市(那覇市、札幌市など)  
\* キャンペーンレディが地元テレビ局等の情報番組に出演し、静岡の観光をPR

○近畿圏、近隣県  
大阪市、京都市、神戸市、姫路市  
名古屋市、甲府市、松本市



## <観光展、スポーツイベント等でのPR>

### ○姉妹・友好都市での観光展へ出展

上越市、室蘭市、佐久市

### ○プロ野球公式戦(ヤクルト対巨人戦)

県営草薙球場で、両チームへの特産品プレゼント

### ○サッカー(エスパルス対グランパス戦)

清水アウスタでパンフレットの配布



## <多彩な体験活動施設を活用した

### 「教育旅行」の誘致>

○横浜市内の小学校 31校訪問

○埼玉県内の小学校 15校訪問

\* 震災への警戒感が強い中、安全対策などを説明し、誘致に努める



## ▶ 国外からの観光客の誘致

### <アジア各国への誘致活動>

#### ○ソウル市

☆韓国TBS放送が「静岡特集」番組を作成・放映

#### ○台湾(台中・台南)トップセールス

☆冬場の台湾観光客誘致増加に貢献

### <訪日教育旅行誘致事業>

#### ☆ 教育旅行の受入実績

22年度(中国 4校 台湾 4校、教員・生徒325名)

23年度(台湾 5校 教員・生徒268名)

☆アジア各国からの誘致には、現地エージェントや学校関係者との信頼関係が大きく影響します



### 3 観光客等受入事業

#### 観光案内所等での情報提供による観光客の利便性の向上事業

##### ○観光案内所運営(3箇所)

JR静岡駅コンコース内北口総合案内所 常時2名勤務  
南口案内所 常時2名勤務

JR清水駅前観光案内所 常時1名勤務

開設時間 午前9時～午後5時45分(年末年始は休業)

案内実績 128,551件

その他 総合案内所は、日本政府観光局より外国人観光案内所(カテゴリーI)の認定を受けている

##### ○清水港船宿記念館「末廣」運営(静岡市指定管理事業)

開館時間 午前10時～午後6時(月曜休館日)

事業内容 清水次郎長の功績、清水港周辺の歴史資料の展示、来場者に対する観光情報の提供

入場者数 23年度 15,836人





# 観光ボランティアガイドの育成支援などによる 「おもてなし力」の向上

## ○観光ボランティア「駿府ウェイブ」の 活動支援

支援の内容 事務スペースの無償提供、名刺、  
ユニフォームの支給、研修開催経  
費の一部助成(会員数 86名)

案内実績 一般 821回 30,053人  
学生等 56回 3,831人

その他 会員研修を年間8回開催



## ○おもてなし講座の開催(全3回)

名称 静岡市観光市民講座「大人の遠足」  
対象 宿泊施設、飲食店、タクシー等、直接  
観光客と接する事業者、市民 40名  
内容 「お茶、丸子、東照宮、家康と静岡」

名称 通訳テクニカルカレッジ  
対象 コンベンションサポート  
通訳登録者 9名  
回数 全2回  
内容 国際会議での受付や  
アナウンス技術の向上

## イベントの支援

### ○ 清水カップ全国グランドゴルフ大会

参加者数 東北や関西などから約60チーム

宿泊者数 360名 宿泊者が減少する日、月で開催

### ○ 三保あさり祭り

参加者約8,000人、あさり拾い、地域情報発信など

### ○ 日本平梅まつり

実施時期 2月の1ヶ月間、お茶席、音楽ステージ

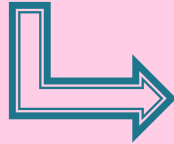


## <公2 事業の公益性>

☆業界団体と一体となった国内外からの誘客活動

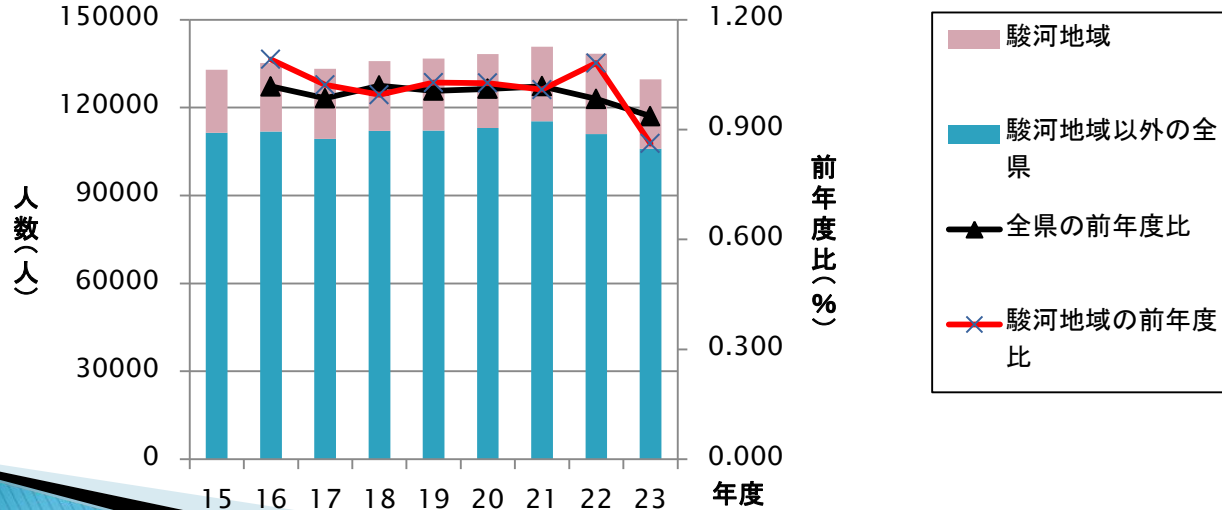
☆観光案内所やボランティアを通じた観光サービスの提供

☆市民のホスピタリティーの向上



交流人口の増加と地域経済への貢献

### 観光客入込数の推移



# 収益事業

☆自主財源の確保により協会財政の安定化を図るとともに、来街者への情報提供や観光客の利便性の向上に資する事業

## ○登呂遺跡駐車場の管理運営

駐車台数 普通車 51台 大型車 11台

年間収入 11,740,050円

(普通車25,857台、大型車933台)



## ○静岡市駿府城跡観光バス駐車場(受託事業)

駐車台数 20台、年中無休 24時間営業

駐車料金 1回2,000円、

事業収入 6,695千円(委託料収入)



## ○静岡駅地下道広告用ショーケースの貸出

区画数 国土交通省分 35箇所、

静岡市分 15箇所

事業収入 8,725,781円



# 賛助会員事業

☆賛助会員への情報提供や交流会の開催により、活動内容の理解促進と会員の資質の向上を図る事業

## ○会報の発行

事業内容の報告や、今後開催されるイベント情報などを提供し、活動内容の理解促進を図る

A4版 8ページ 年4回発行

1回の発行部数 4000部



## ○「賛助会員の集い」の開催

事業内容や財務状況を報告し、運営の透明化を図るとともに、講演会や交流会を開催し、賛助会員同士の相互交流を図る

(平成23年度賛助会員の集い)

交流会 賛助会員14社によるPRコーナーの設置など

参加者数 120名



# 課題と今後の取り組み

課題 1 職員の専門性の更なる向上

- ・旅行形態の変化への的確な対応
- ・時代変化に対応した情報提供



対応

外部研修への積極的参加  
民間企業、他団体との連携

課題 2 観光案内所の機能強化

- ・増加する外国人旅行者への対応



対応

外国語堪能者の採用  
情報機材の充実

課題 3 自主財源の安定的確保



対応

賛助会員獲得の努力  
収益事業の改善・充実

## (今後の取り組み)

- ・「まち歩き観光」の充実 ⇒ 既存観光資源の「見直し」と「掘り起こし」
- ・会員、市民の「おもてなし」意識の向上 ⇒ おもてなし講座の充実など
- ・教育旅行、インセンティブ旅行の誘致 ⇒ 的確なマーケティング